

第2章 福生市商業、商店街振興の基本目標と基本方針

1 福生市商業、商店街振興の基本目標

福生市商業、商店街の現況と課題等を踏まえて、福生市商店街振興の基本目標を以下のように入します。

**基本目標：「福」を「生」みだす魅力ある商いのまちづくり
～育てよう様々な<born in 福生>が生まれる自由な風～**

福生市商業振興の基本目標『「福」を「生」みだす魅力ある商いのまちづくり』は、横田基地、多摩川など福生市の持つ地域資源の活用をはかり、市民や来街者、そして福生市商業の担い手が協力・連携して、福生らしさを持った魅力ある商業、商店街づくり等を推進して目指すということからできました。特に「福生」を構成している文字『福』と『生』は、まさに「福（しあわせ、幸運）を生む（発生させる。作り出す）」ということであり、商業による魅力あるまちづくりの方向性を表現するのにふさわしい言葉であると思います。

また様々な人々によって醸し出されている福生の地域性は、これからの福生市商業の魅力向上にも不可欠なものです。“水と緑とまつりの熱気”、“異国情緒を感じる自由な風”が感じられる雰囲気大切に、福生から様々なものが生み出されてくることを目指し『育てよう様々な<born in 福生>が生まれる自由な風』をサブテーマと入します。

以上の認識を持ち、商業、商店街振興の基本目標を推進するための基本方針を以下のように入します。

<基本目標>

<基本方針>

**「福」を「生」みだす
魅力ある商いの
まちづくり**

地域特性を生かし
まとまりある商店街づくりの推進

消費生活者ニーズを反映した特色、専門性のある
個店づくりの推進

福生の商いを担う人材育成の推進

福生の特性、立地環境、地域資源を
活用した取り組みの推進

連携や協力による魅力ある
商いの場や機会づくりの推進

2 福生市商業、商店街振興の基本方針

福生市商業、商店街の五つの基本方針について、その考え方を以下のように整理して推進していきます。

①地域特性を生かしまとまりある商店街づくりの推進

近隣都市への大型店の進出、圏央道の整備など福生市を取り巻く都市、商業環境はますます変化しています。また少子高齢化の進展、コミュニティの多様化など、市民の生活を取り巻く環境は大きく変化しつつあり、身近な生活環境に戸惑いを感じる市民も少なくありません。

こうしたことへの対応策の一つが、安心・安全な地域・コミュニティづくりをすることです。その際に中心的な役割を期待されるのは、地域住民にとって、ショッピングの場所であるとともに、くつろいだり知人と語り合ったりする憩いの場としての地域商店街です。

商店街には地域の消費生活者への生活支援の場と機能の提供という役割が不可欠になってきており、そうしたことへの対応力を強化していきます。

②消費生活者ニーズを反映した特色、専門性のある個店づくりの推進

福生市の商業は、商店数・従業員規模・年間販売額などいずれの指標も減少しており、また周辺の都市と比較して下位となっています。商圈も近隣都市のショッピングセンターや立川等の大型商業集積地があり、買回品の流出は特に多くなっています。

今後ますます消費生活者ニーズの多様化、高度化が想定される中、個々の店舗としては消費生活者のニーズを的確にとらえて対応していくことが一層重要になります。専門性を生かして固定客を中心とした顧客満足度を高め、顧客一人当たりの売り上げを伸ばし、さらに諸活動を展開し新しい顧客獲得に結び付けていきます。

③福生の商いを担う人材育成の推進

大きく激変する商業環境の中で、福生市の消費生活者、福生市への来街者のニーズを充足し、顧客満足度を向上させるためには、“ホスピタリティ（おもてなし）”の精神でお客様に接していくことが重要となります。

これからの福生の商業、商店街振興にとって不可欠なホスピタリティ精神の高い人材育成を、若手に限らず推進するとともに、後継者や新規出店者などを育成していきます。

また、自身の店舗のみならず、商店街の活性化やまちづくりを担うリーダーの育成が急務となっており、各種の研修等を行い、リーダーの育成を行います。

④福生の特性、立地環境、地域資源を活用した取り組みの推進

福生市内には多くの公園、多摩川や玉川上水などの自然資源、熊川神社などの寺社仏閣、そして横田基地などの多くの地域資源があります。

各商店街の魅力向上のために、商店街の近くにある地域資源等を洗い出し、地域の歴史や文化に光を当てて、そうした福生の持つ宝物の活用や連携を推進し、さらに魅力ある商店街づくりに取り組みます。

⑤連携や協力による魅力ある商いの場や機会づくりの推進

近年、消費生活者のニーズはますます高度化するとともに多様化しており、商業者の対応は困難さを増しています。こうした消費生活者ニーズに対する商業者の対応力の向上はもとより、地元の住民等とともに考え、支援していく仕組みづくりについて検討することも重要です。そうした取り組みにより、市民が望むような活気があり、魅力的な個店・商店街を形成していきます。